

門司港レトロ観光線

安全報告書

平成28年度版

この安全報告書は、平成筑豊鉄道（株）（第2種鉄道事業者）・北九州市（第3種鉄道事業者）における鉄道輸送の安全確保に向けた平成27年度の取り組みや安全の実態をまとめたものです。



平成筑豊鉄道（株）・北九州市

安全報告書目次

1	安全報告書の発行にあたって	2
2	安全に関する基本的な方針	3
3	平成27年度安全目標	3
4	平成27年度の事故等の状況	4
5	安全管理体制と方法	5
6	安全確保のための措置状況と今後の計画	6
7	その他	7

1 安全報告書の発行にあたって

平素より、門司港レトロ観光線をご利用いただきありがとうございます。

当社は、安全が全ての基本であり、「お客様の安全を最優先」を経営トップから社員まで全員が念頭におき、安全・安定輸送に努めております。また、常に安全管理体制の改善を行い、さらなる安全向上に努め信頼される公共交通機関を目指しております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解をいただくために公表するものです。皆様からのお声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見等をいただければ幸いです。

第2種鉄道事業

平成筑豊鉄道株式会社 社長 二場 公人

平成21年4月26日、「門司港レトロ観光線」は観光振興を目的とする特定目的鉄道として開業し7年目を迎え、開業以来100万人のお客様を迎えることが出来ました。

本事業は、北九州市が「第3種鉄道事業者」として鉄道施設を保有し、平成筑豊鉄道(株)が「第2種鉄道事業者」として列車を運行する「上下分離方式」で事業を行っています。

本市と平成筑豊鉄道(株)は、鉄道施設の設備更新を適宜行い安全・安心の確保に努め無事故を継続しております。

今後も、お客様や地元の皆様のご理解ご協力を賜りながら、安全・安心の確保を最優先に日々の業務に取り組むとともに、本市の観光振興及び地域振興に貢献するべく、事業を推進してまいります。

第3種鉄道事業

北九州市 市長 北橋 健治

2 安全に関する基本的な方針

施設を保有する北九州市と列車の運行を行う平成筑豊鉄道（株）は、緊密な連携を保持し、輸送の安全を確保するための基本的な方針として、「安全基本方針」を掲げ、安全確保の水準の維持及び向上を図っていくことにしています。

【安全基本方針】

1. 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
4. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
5. 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行います。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
7. 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

なお、この「安全基本方針」は、業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じ見直してまいります。

3 平成27年度安全目標

平成27年度は、開業7年目になりますが、おかげさまで累計100万人もの多くのお客様に利用していただいております。

そして常日頃から知識・技能の習得に励むとともに、基本動作の励行と施設・車両の保守点検を怠りなく、きめ細やかに実施し、「お客様の安全最優先の意識の徹底」と「社内原因による運休ゼロ」を達成し、定時運行を確保することを目標とし、次の重点実施事項を掲げ取り組んでまいりました。

【重点実施事項】

1. 安全管理体制の充実・強化
2. 運転従事員の教育・訓練の充実
3. ハード・ソフト対策の充実
4. 委託会社との連携強化
5. 労働災害の防止

4 H27年度の事故等の状況

営業運転日数170日（うち 貸切列車のみ運転 40日）、総走行キロ6,050.1km、乗客約10.8万人ものお客様に門司港レトロ観光列車を利用していただきました。

この間の事故等の状況については以下のとおりです。

(1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故はありませんでした。

	27年度
列車事故（衝突、脱線、火災）	0件
鉄道人身傷害事故	0件
踏切障害事故	0件
鉄道物損事故	0件

(2) インシデント（運転事故が発生する恐れがあると認められる事態）

インシデントの発生はありませんでした。

	27年度
閉そく違反	0件
本線逸走	0件
工事違反	0件
車両脱線	0件
施設障害	0件
車両障害	0件
その他	0件

(3) 輸送障害（30分以上の遅延及び運休）

輸送障害は発生しませんでした。

	27年度
輸送障害	0件
設備故障等	0件
自然災害等	0件
第三者行為等	0件

(4) 設備故障等

車両関係は1件（DB101号の前面ガラス割れ）発生しました。

施設関係は発生しませんでした。

電気関係は8件（踏切警報持続関係2件、踏切遮断かん折損3件、駅用カメラ一時不良3件）発生しました。

(5) 自然災害等

自然災害等による、運行への支障はありませんでした。

(6) 行政指導

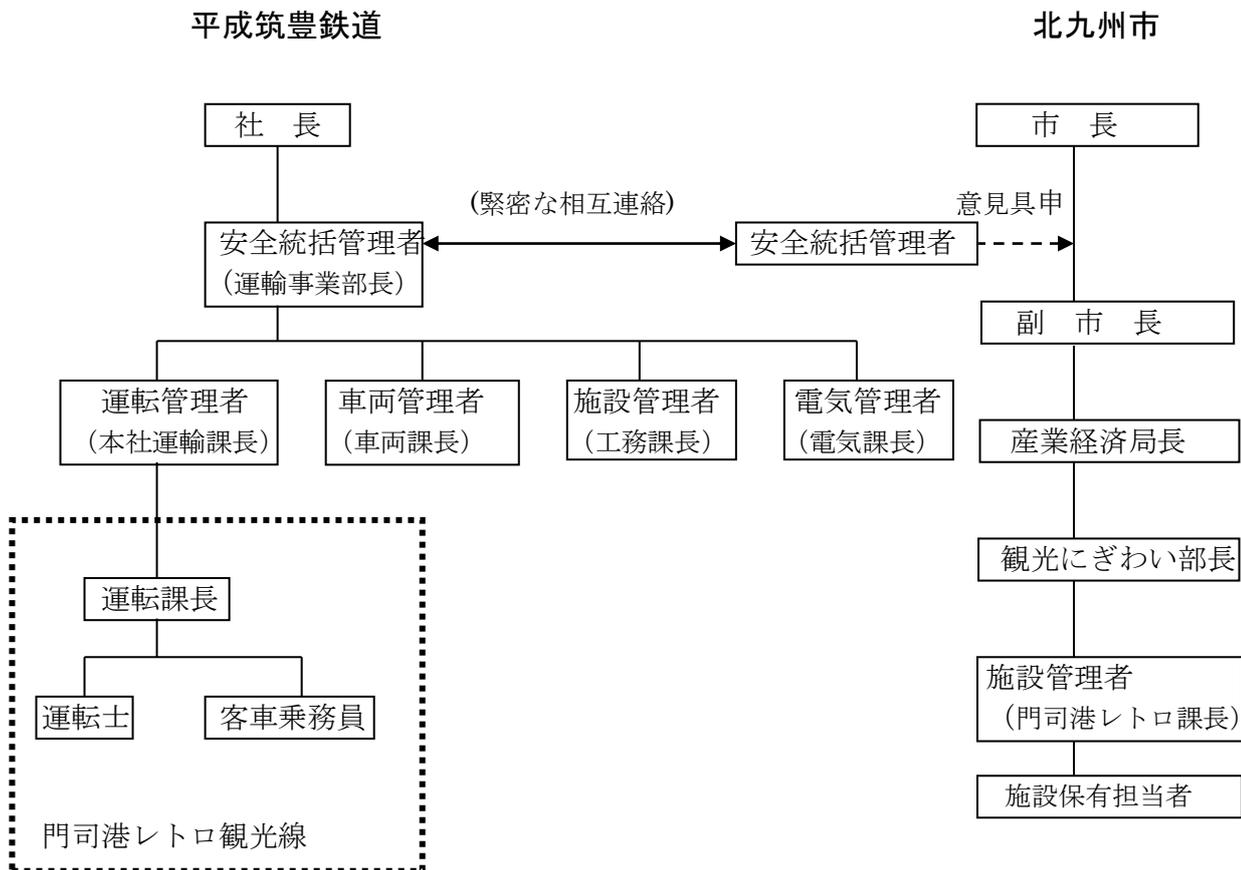
国土交通省九州運輸局から、平成27年12月の保安監査において施設（軌道・土木）の保守・管理が不十分と改善指示がなされました。この改善指示に対して、九州運輸局に改善策を提出するとともに改善箇所に対して処置を講じました。

5 安全管理体制と安全管理の方法

(1) 安全管理体制組織図

社長、市長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にした上で、安全確保の役割を担っております。

また、今後は安全の向上のために必要な組織の見直しを随時行います。



	役 職	役 割
第2種鉄道事業 平成筑豊鉄道(株)	社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
	安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
	運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
	施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設(電気関係を除く)に関する事項を統括する
	電気管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設の電気に関する事項を統括する
	車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する
第3種鉄道事業 北 九 州 市	市 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
	安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
	施設管理者	安全統括管理者の下、施設に関する事項を実務上統括する。

(2) 安全管理の方法

①巡回・点検

お客さまが集中するゴールデンウィークや夏休みには、管理者が列車添乗、徒歩巡回を行い、現状把握と問題点を摘出し改善を図っていくことにしています。

②運転・車両・設備事故防止検討会の開催

運転・車両・設備故障防止について、検討会を開催し、情報の共有と事故・故障の撲滅を図るため、双方の安全統括管理者をトップとした検討会を設置しています。

③人材の育成・教育

ア 人材の育成・教育

運転士間や客車乗務員間ではそれぞれ技能、専門知識及び安全意識の向上を図るため、ミーティングを開催し、より一層の安全運行に努めます。

イ 異常時訓練の実施

万一の事故等に際し、安全かつ正確、迅速にお客様の避難・誘導が行えるよう年一回以上は、異常時訓練を実施します。

6 安全確保のための措置状況と今後の計画

(1) 地上設備・車両設備

①地上設備

H27年度は、出光美術館駅ホームのスロープ部の水たまり防止工事及び踏切設備（踏切警報機、踏切遮断機、踏切制御子）の取替えを行いました。

H28年度は、安全設備点検を行い、その結果により確実な補修を行っていきます。

②車両設備

H27年度は、三ヶ月検査を計画的に実施するとともに、日常においては列車検査を的確に行い輸送の安全確保に努めました。

H28年度は後部照明灯のLED化を行い、確実な運行と省エネ化を合わせて実現していきます。

(2) 人材育成

新人者の教育・訓練

H27年度は、運転士に対して、各種規程の周知並びに車両構造及び列車検査マニュアルに基づく現車実習を実施しました。

また、客車乗務員に対しては、各種規程の周知のための机上教育や、現車実習を実施しました。

7 その他

(1) 地元の皆さま・観光客の皆さまとの連携とお願い

①踏切通行上のご注意

鉄道記念館駅から車庫までわずか2.9 kmですが、その間に12箇所もの踏切があります。

全て遮断機がついた踏切ですが、通行の際は、必ず一旦停止を行い、左右確認後通行していただくようお願いします。

万が一、自動車が踏切内に閉じ込められた場合は、遮断機を上げて(45度開く)自動車を線路外に出してください。

また踏切故障を発見していただいた際は、是非ご連絡くださいますようお願い致します。

②安全報告書へのご感想、安全への取り組みに対するご意見

安全報告書へのご感想、安全への取り組みに対するご意見は、下記の箇所にお問い合わせいたします。

平成筑豊鉄道(株)	門司港事業所
TEL	093-331-1065
FAX	093-331-1265

北九州市	門司港レトロ課
TEL	093-322-1188
FAX	093-322-3033